

News Release



平成 28 年 4 月 11 日

各報道機関文教担当記者 殿

「金沢大学大学院教職実践研究科（教職大学院）」設置 4/14 看板除幕式を挙行

このたび、金沢大学では、子どもの自立・協働・創造に向けた一人一人の主体的な学びの実現に向け、「高度な学識と実践的指導能力を備えた教員」及び「社会の変化に対応した学校経営・運営能力を備えた教員」を養成するため、平成 28 年 4 月 1 日に「大学院教職実践研究科」を設置しました。

ついては、下記のとおり看板除幕式を行いますので、当日の取材・事前報道をよろしく
お願いします。

記

大学院教職実践研究科(教職大学院) 看板除幕式

日 時 : 平成 28 年 4 月 14 日 (木) 13 時 00 分～

場 所 : 金沢大学人間社会第 2 講義棟正面エントランス(角間キャンパス)
※別紙地図参照(北地区 P 駐車場をご利用ください)

出席者 : 山崎光悦 学長
有松正洋 理事(総務・人事・施設担当)
檜見由美子 人間社会学域長
田邊俊治 教職実践研究科長 外

(本件照会先)

金沢大学人間社会系事務部総務課長 米林
tel : 076-264-5471

(広報担当)

金沢大学総務部広報室 本庄
tel : 076-264-5024

子どもたち一人ひとりの
意欲・個性・創造性を伸ばす教育を目指して
学生一人ひとりの学びを支援します



金沢大学 教職大学院

金沢大学大学院教職実践研究科(教職大学院)
教職実践高度化専攻

<http://pdte.ed.kanazawa-u.ac.jp/>

ACCESS



金沢駅から角間キャンパスへのアクセス 〈北陸鉄道バス利用の場合〉

JR金沢駅兼六園口(東口)バスターミナル6番のりばから

91 93 94 97 北鉄バス「金沢大学(角間)」行き乗車, 「金沢大学(角間)」下車 徒歩約3分

※「金沢大学中央」で下車した場合は徒歩約5分

[お問い合わせ先]

金沢大学人間社会系事務部学生課 教育・地域学務係

〒920-1192 石川県金沢市角間町

TEL : 076-264-5556, 5603 E-mail : n-kcgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

<http://pdte.ed.kanazawa-u.ac.jp/>

次のような学生の入学を求めています

教職実践研究科教職実践高度化専攻では、教員免許状取得（見込）者，あるいは現職の教員で、学校教育の授業・学習指導面における理論と実践に関する技能や研究，あるいは学校管理における実践的解決能力に関する技能や研究に強い意欲を持ち、それらの技能および研究に必要な学力や能力を有する人を求めます。

このようなことを学びます

大きく4つに分けられる科目を繋いで学びます。

① 5領域から成る「共通科目」 + ② 各コース独自の専門性を追求した「コース科目」

④ 「総合科目」(理論と実践の往還)

③ 学校での実践を通して学ぶ「学校実習科目」

- 共通科目では、本質に迫る理論と実践を学ぶとともに、複雑で現代的な実在の教育課題を取り上げます。
- コース科目では、それぞれのコースに応じ、基礎理論とその発展および事例検討などを行います。
- 1年次の学校実習は、全学校種の教育課程を有する本学附属学校園で行います。2年次の学校実習は、現職教員学生の所属する連携協力校において行います。
- 総合科目は専任教員全員が共同で担当し、多様な視点から理論と実践とを融合させた学習・研究を実現します。

このような力が身につきます

本研究科を修了すると「教職修士（専門職）」が授与されます。また、次のような力が身につきます。

- 学校教育に関する高度の学識及び実践力・応用力
 - a) 歴史的社会的な背景を踏まえて、教育の現状を多面的多角的に把握したうえで、将来に向けて現在必要とされる教育のあり方を考えることができる。
 - b) 教育内容とその教育方法に関する高度な専門的知見を有し、グローバルな視野をもちつつ、地域や家庭と緊密な連携を取ることができる。
- 学習者の主体的・能動的な学習をデザイン・支援できる能力
子どもたちの個性に応じた学習支援に配慮しながら、子どもたちが主体的・協働的・創造的に学ぶ授業をデザインし、実践することができる。
- 教育の専門家として自ら学び続ける力
自らの学習を継続的に評価し方向づけながら、様々な教育課題に対し的確・創造的に対処することができる。

取得可能な免許状

専攻	コース	教育職員免許状の種類	免許教科
教職実践高度化専攻	学習デザインコース 学校マネジメントコース	高等学校教諭専修免許状	全教科
		中学校教諭専修免許状	全教科
		小学校教諭専修免許状	
		幼稚園教諭専修免許状	

※入学においては、教員免許状（一種）を有する必要があります。

◆ 長期履修制度について

職業を有している等の事情により、標準修業年限2年で修了することが困難な学生に、標準修業年限を越えて一定の期間（3年又は4年）の計画的な履修を認める制度です。長期履修学生の授業料年額は、一般学生が標準修業年限在学した場合の授業料総額を、長期履修学生として許可された在学年限で除した金額となります。

詳しい情報はホームページをご覧ください

⇒ <http://pdte.ed.kanazawa-u.ac.jp/>

学校マネジメントコース

School management course

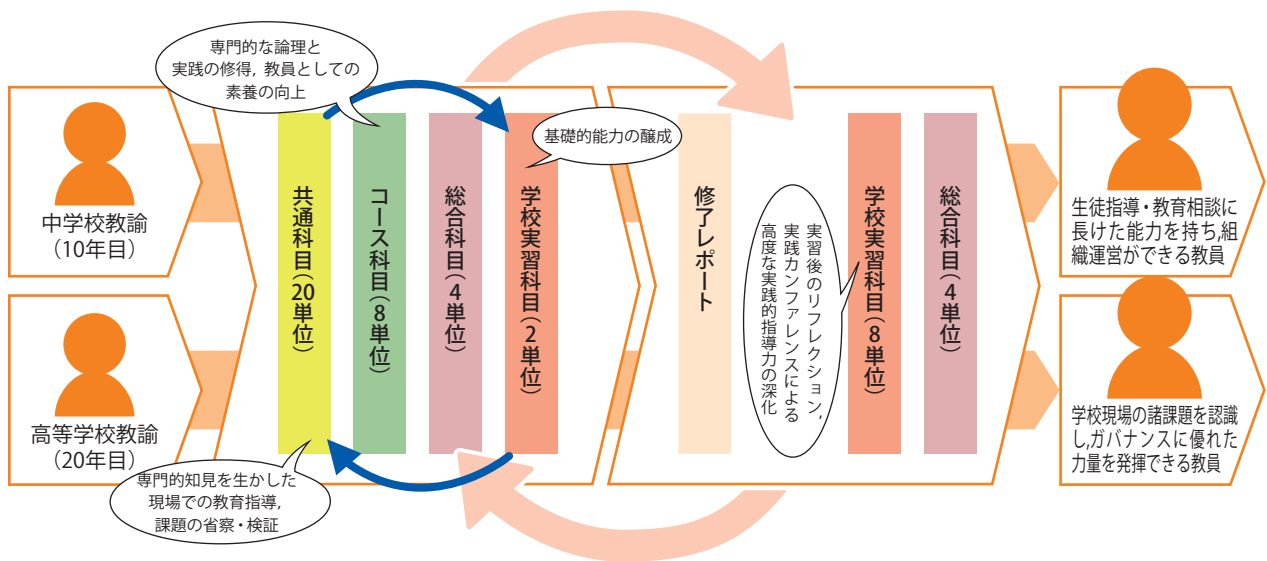
子どもを中心とする保護者・地域社会・学校の連携の輪を構築するとともに、学校の管理運営や、そこで直面する問題に対する解決において指導的役割を果たしうに必要な知見と問題解決のための実践的能力を育てます。



対象

1年次 | 理論と実践の往還と資質能力向上

2年次 | 現場実習での教育実践力の深化



● 1年次

	月	火	水	木	金
前期	1限	現代教師論	カリキュラムの理論と実践	地域教育実践	
	2限	カウンセリング演習		授業研究	学校マネジメントの理論と実践
	3限	学校危機管理論	学校マネジメント研究Ⅰ		
	4限		学校事例研究Ⅰ		
	5限				
9月	学校実習Ⅰ (附属学校園で実習を行います。)				
後期	1限		現代における教育課題研究	教育相談の理論と実践	地域教育研究
	2限			発達障害の理解と対応	
	3限	学校マネジメントの心理学	学校マネジメント研究Ⅱ		
	4限		学校事例研究Ⅱ		
	5限				

● 2年次

所属先で勤務を行いながら指導を受けます。週1回程度通学し、実践カンファレンスⅡ, 専門研究Ⅱを受講し、修了単位を修得します。

学習デザインコース

Learning design course

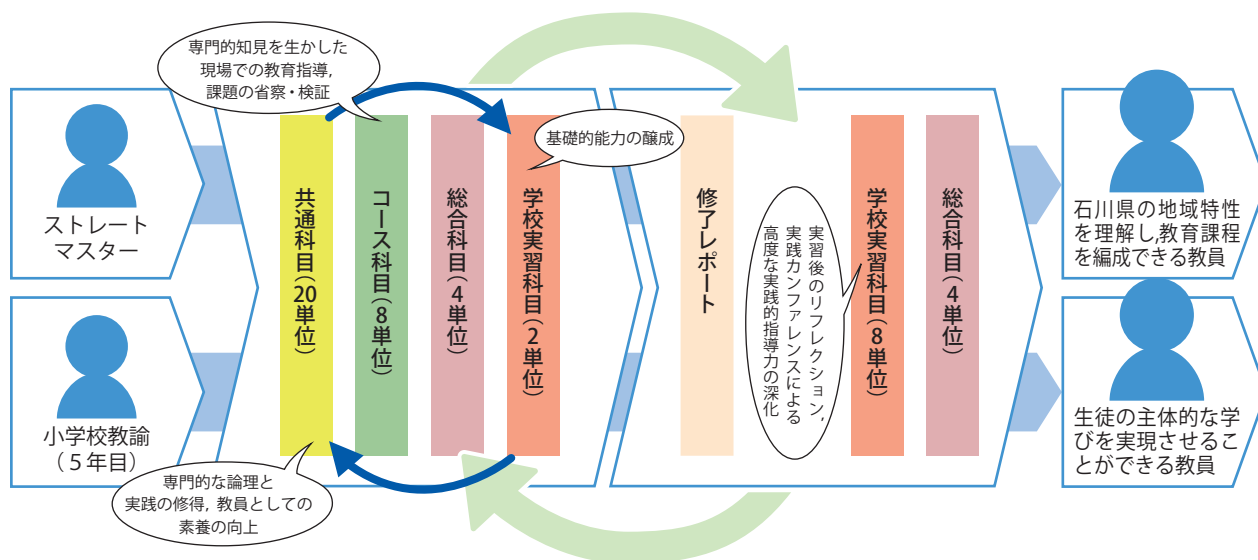
学校教育に関する高度の学識及び実践力・応用力を備えるとともに、子どもが個人として自立し、他者と協働でき、様々な事柄に対して創造性を発揮できる能力を育てることができるよう、学習障害、カウンセリングや生徒指導、ICT等についての知見を踏まえながら、学習をデザインできる実践的能力を育てます。



対象

1年次 | 理論と実践の往還と資質能力向上

2年次 | 現場実習での教育実践力の深化



● 1年次

	月	火	水	木	金
前期	1限	現代教師論	カリキュラムの理論と実践	地域教育実践	
	2限	カウンセリング演習		授業研究	学校マネジメントの理論と実践
	3限		学習デザイン研究Ⅰ	授業の専門知識	
	4限	学習・発達研究	学習事例研究Ⅰ		
	5限				
9月	学校実習Ⅰ (附属学校園で実習を行います。)				
後期	1限	現代における教育課題研究	教育相談の理論と実践	地域教育研究	
	2限	教育評価研究		発達障害の理解と対応	実践カンファレンスⅠ
	3限	学校マネジメントの心理学	学習デザイン研究Ⅱ		
	4限		学習事例研究Ⅱ		
	5限				

● 2年次

現職教員は、所属先で勤務を行いながら指導を受けます。週1回程度通学し、実践カンファレンスⅡ、専門研究Ⅱを受講し、修了単位を修得します。

ストレートマスターは、週2回程度実習校で実習を行うとともに、大学で実践カンファレンスⅡ、専門研究Ⅱを受講し、修了単位を修得します。

研究科の目的と特徴

本学教職大学院では、地域特性や教育課題を踏まえ、学校教育に関する高度の学識及び実践力・応用力を備え、特に子どもたちの主体的・能動的な学習をデザインし、支援する力において全県レベルでリーダー的役割を果たしうる優れた教員(新採教員や若手・中堅教員)、並びにそのような教員から組織される学校において、確かな教育理論と優れた実践力・応用力を備え、地域や家庭と連携しつつ学校の管理運営において指導的役割を果たしうる中核的教員を養成します。

授業力・指導力 → 学習デザインコース
学校管理運営力 → 学校マネジメントコース

教育実践力・応用力を身につけます
教育現場との連携協力による授業を行います

附属学校園
(5 校園)

地域教育機関
(教育委員会・協力校)

カリキュラム構成

教職実践研究科の学年別カリキュラムは次のとおり構成されています。

<1年次> 大学での授業と、9月に附属学校園で行われる『学校実習Ⅰ』から成ります。

<2年次> 連携協力校における『学校実習Ⅱ』を中心として、その活動を省察するために大学で行われる授業(毎週金曜日)から成ります。

連携協力校とは：現職教員院生の勤務校を連携協力校とします。ストレートマスターの学生もこの連携協力校にて学校実習を行います。

なお、研究科の修了には「共通科目」を選択科目2単位以上を含めて20単位以上、「総合科目」を8単位、「コース科目」を選択科目2単位以上を含めて8単位以上、「学校実習科目」を10単位を修得し、計46単位以上を修得する必要があります。

共通科目 (20 単位)	(1) 教育課程の編成・実施 「カリキュラムの理論と実践」「地域教育実践」 (2) 教科等の実践的指導法 「授業研究」「発達障害の理解と対応」「地域教育研究」 (3) 生徒指導, 教育相談 「教育相談の理論と実践」「カウンセリング演習」 (4) 学級経営, 学校経営 「学校マネジメントの理論と実践」「学校マネジメントの心理学」 (5) 学校教育と教員の在り方 「現代教師論」「現代における教育課題研究」
総合科目 (8 単位)	「実践カンファレンスⅠ」「実践カンファレンスⅡ」「専門研究Ⅰ」「専門研究Ⅱ」
コース科目 (8 単位)	◇学習デザインコース 「学習デザイン研究Ⅰ」「学習デザイン研究Ⅱ」「学習事例研究Ⅰ」「学習事例研究Ⅱ」「授業の専門知識」「教育評価研究」 「学習・発達研究」 ◇学校マネジメントコース 「学校マネジメント研究Ⅰ」「学校マネジメント研究Ⅱ」「学校事例研究Ⅰ」「学校事例研究Ⅱ」「学校危機管理論」
学校実習科目 (10 単位)	「学校実習Ⅰ」「学校実習Ⅱ-A」(現職教員学生向け)「学校実習Ⅱ-B」(ストレートマスター向け)